

横須賀高校創立110周年記念
Music Festival
2018



2018年10月8日(月・祝)
よこすか芸術劇場
開演 14:00 (開場 13:30)

ごあいさつ

Music Festival 2018実行委員長
大竹 英恵



本日はMusic Festival 2018にお越しいただきまして誠にありがとうございます。実行委員長ならびに横須賀高校同窓会 朋友会の会長を務めさせていただいております、横須賀高校34期大竹英恵と申します。

横須賀高校が創立110周年を迎える、この節目の年に卒業生みんなでお祝いしたい”、“横須賀高校卒業生が楽しく参加する場を作りたい”という朋友会のつながりや広がりを願う気持ちから、よこすか芸術劇場にて音楽のイベントを企画しました。そして、作編曲家・サックス奏者として活躍されている高校49期の小林洋平さんのご尽力により、プロで活躍されている方から将来活躍が期待されている学生までがつながり、いろいろな音楽を楽しんでいただける場に広がりました。

一方、“横須賀高校110年の歴史を、卒業生だけでなく広く地域の方にも伝えたい”、そして、“ご家族や地域の皆さんにも音楽を楽しんでいただきたい”という願いも叶い、どなたでも自由に参加して音楽を楽しむことができるMusic Festival 2018を開催するに至りました。Music Festival 2018は、横須賀高校卒業生はもちろん、卒業生のご家族、そして長い間、横須賀高校を支えてくださった地域の皆様への感謝の気持ちから、入場料を無料とさせていただきました。秋の半日のゆったりとした時間の中で、さまざまな音楽をご用意しましたので、お好きな時間にお好きな音楽を思う存分お楽しみください。

末筆になりますが、この大きな舞台を創るためにご尽力いただきましたコンサートディレクターの小林洋平さん、舞台監督の森裕之様に心から御礼申し上げます。また、本イベントを開催するに際しましてご協力いただきました横須賀高校吹奏楽部OB会をはじめとする多くの皆様、この趣旨に賛同してご寄付をいただきました方々に、心から御礼申し上げます。

コンサートディレクター
小林 洋平



皆様はじめまして。コンサートディレクターを務めさせていただきました、横須賀高校49期の小林洋平と申します。本日は大変お忙しい中、また大切なお休みの一日に私どものコンサートにお越しくださいまして誠にありがとうございます。まずはご来場くださった皆様に厚く御礼申し上げますとともに、朋友会の大竹英恵会長をはじめ、本公司の企画と開催に際しましてご尽力いただきました全ての皆様に、心から感謝申し上げたく存じます。

今回は、横須賀高校のOBOGの方々を中心に、スペシャルゲストの皆様にも加わって頂き、現役で大活躍をされている様々なジャンルの方々にご出演をお願いいたしました。最初にお話を頂いた時には想像もしていなかったような、素晴らしい皆様にご出演をご快諾いただけて、感無量です。

横須賀高校の卒業生の多岐にわたる活躍の数々は枚挙にいとまがありませんが、今回の件に向き合う中で改めて私自身の現役時代を思い返しますと、やりたいことを決して否定されなかつたその懐の広い環境こそが、自分の可能性を大きく広げてくれ、羽ばたいていけるきっかけを与えてくれたように思います。そんな、自由でいて一人ひとりの学生の視野を決して大人や環境が狭めてしまわない校風こそが、卒業生の素晴らしい活躍の数々を生み出してきたのだと信じてやみません。そしてその受け継がれてきた大切な「何か」が、これからもずっと守られていくよう、心から願っています。

今日は、学校の礎を築いてこられた全ての方々と、何より110年もの間、ともに歩み、見守ってくださった横須賀という素晴らしい街の皆様への感謝の気持ちを込めた、盛大なお祭りです。お一人おひとり、1ステージ1ステージ、それぞれに志向を凝らした最高のステージになると思いますので、どうか心ゆくまでごゆっくりお楽しみ頂けましたら、しあわせです。

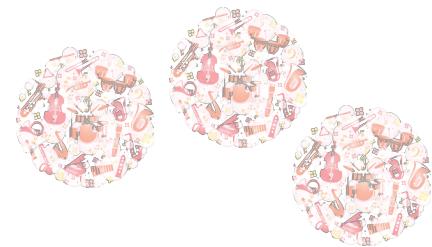
本日はご来場、誠にありがとうございます。

～お願い～

- ・曲中の入退場はお控えください。
- ・会場内でのご飲食は禁止となっております。ロビーにてお願い致します。
- ・会場内の録音、撮影等は禁止となっております。ご了承ください。



プログラム



14:00～ 岸本佳子（トランペット）
14:15～ 遠藤一成（ピアノ、自作自演）
14:30～ 松本理沙（サクソフォン）

15:10～ アンサンブル リノ（ピアノと管楽5重奏）
15:40～ 東京フィルハーモニー交響楽団ホルンアンサンブル（ホルン4重奏）

16:30～ 京浜 Jazz Explosion（ビッグバンド）

17:10～ RUEED（歌手）+ 渥美幸裕（ギタリスト）
17:40～ 小林洋平（作曲）+ 斎藤直樹（俳優）+ 矢部亮子（バレエダンサー）

18:20～ 山田姉妹（ソプラノデュオ）
18:50～ 宮本史利（バリトン）

19:30～ 横須賀高校吹奏楽部 + 卒業生
+ 田中靖人（サクソフォン）+ 上野正博（指揮）+ オザワ部長（トーケ）

※途中入退場できます。

14:00～



岸本 佳子（トランペット） *69期

東京音楽大学音楽部トランペット専攻に在学。第12回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト高校生金管部門にて入賞。2017年、ガボール・タルケヴィのマスタークラス受講。これまでに大島健太郎、津堅直弘、アンドレ・アンリ、高橋敦、柄本浩規の各氏に師事。



遠藤 一成（ピアノ、自作自演） *46期

横浜生まれ。横須賀育ち。神奈川県立横須賀高等学校46期生。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を畠山珠美氏、太田彌生氏、野田暉行氏、夏田昌和氏の各氏に師事。現在は公立校に実習助手として勤務している。



松本 理沙（サクソフォーン） *63期

三浦市立南下浦中学校、神奈川県立横須賀高等学校を経て、玉川大学芸術学部パフォーミング・アーツ学科卒業。卒業時に学部長賞選考演奏会に出演し、学部長賞を受賞する。東京音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻管打楽器研究領域修士課程（サクソフォーン）修了。第10回横浜国際音楽コンクール サクソフォーン部門第2位。第3回Kサクソフォーンコンクール グランプリ第3位。ヤマハ主催「音楽大学フェスティバルコンサートVol.4」、第19回ヤマハ新人演奏会木管部門、第12回サクソフォーン新人演奏会に出演。第19、22、23回 浜松国際管楽器アカデミーに参加し、オーディス・マーфиー、ジャン=イブ・フルモーの各氏のマスタークラスを受講。中学・高等学校にてサクソフォーンの講師を務めるとともに、演奏活動を行っている。横浜市民広間演奏会会員。これまでにサクソフォーンを大貫比佐志、小池裕美、小串俊寿、波多江史朗、原博巳の各氏に師事。

長田 翔一（ピアノ） ※岸本佳子、松本理沙と共に

神奈川県出身。6歳よりピアノを始める。私立三浦学苑高等学校音楽選択コースを経て東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。第10回セシリ亞国際音楽コンクールピアノ部門第1位受賞。第8回日本バッハコンクール全国大会 銀賞受賞。第26回日本クラシック音楽コンクール全国大会ピアノ部門大学男子の部第3位 受賞。第7回ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan全国大会大学A部門 銅賞受賞、浜離宮朝日ホールにて入賞者ガラコンサートに出演。その他多数の音楽コンクールに入選、入賞。プリマ・ヴィスタ弦楽四重奏団（ポーランド）の室内楽セミナーに参加。これまでにピアノを鈴木佳寿恵、伊勢田宏子、故・海老原直美、後上聰司、小林出、杉谷昭子の各氏に師事。グラーツィア音楽院（東京都練馬区上石神井）、FOREST MUSIC（東京都墨田区）ピアノ講師。

15:10~



アンサンブル リノ (ピアノと管楽5重奏)

アンサンブル リノは横浜・鎌倉・藤沢の市民オーケストラのメンバーが垣根を越えて集まり2005年に活動をスタート、2006年1月に旗揚げ公演を行いました。管弦ピアノの楽器が集まり、ベートーヴェン七重奏曲やシューベルト八重奏曲のような大編成の室内楽作品を志向しつつ、木管五重奏や弦楽四重奏、ピアノの加わったトリオなどを織り交ぜて活動してきました。また、現在ではあまり演奏されない忘れ去られた作曲家やその作品を探し出して、積極的に取り組んでいます。いわゆるメジャーにならなかった作品たちの中にも、魅力的な音楽がまだまだ沢山眠っており、埋もれた宝石を発掘して紹介し続けています。本公演では、レ・ヴァン・フランセが来日公演で必ず演奏することで日本でも大変有名になった近代フランスのフランシス・ブーランクの六重奏曲をお届けします。

メンバー

フルート 高畠 裕恵 / オーボエ 山㟢 一哉 / クラリネット 前沢 実 (32期)
ファゴット 三浦 隆昭 (38期) / ホルン 宮崎 敏幸 / ピアノ 御室 美佐子

東京フィルハーモニー交響楽団ホルンアンサンブル (ホルン4重奏)



高橋臣宜(1st ホルン)

山形県出身。県立山形北高校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。学内にてアカンサス音楽賞受賞。読売新人演奏会に出演。PMFに参加。別府アルゲリッチ音楽祭、宮崎国際音楽祭など、数々の音楽祭に出演する。山形県にて「山形の演奏会シリーズ」にて山形交響楽団と二度にわたり協奏曲を共演。これまでにホルンを岡本和也、守山光三、笠松長久、松崎裕の各氏に師事する。(公財)群馬交響楽団第一ホルン奏者を経て、(公財)東京フィルハーモニー交響楽団に所属。現在同楽団で首席ホルン奏者を務める。洗足学園音楽大学非常勤講師。

大東周(2nd ホルン) *39期

神奈川県出身。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。1995年より広島交響楽団団員。1998年より新星日本交響楽団団員。2001年より東京フィルハーモニー交響楽団団員。これまでにホルンを脇屋俊介、守山光三、山本真の各氏に師事。

木村俊介(3rd ホルン)

神奈川県出身。桐朋学園大学卒業。同大学研究科修了。大学卒業演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。第26回日本管打楽器コンクールホルン部門第4位。ホルンを猶井正幸氏、宮野大輔氏に師事。2018年1月より東京フィルハーモニー交響楽団団員。

田場英子(4th ホルン)

1991年東京音楽大学卒。同年新星日本交響楽団入団。1997年アメリカ・シカゴに留学。現在東京フィルハーモニー交響楽団団員、オイロス・アンサンブル、つの笛集団メンバー。聖徳大学兼任講師。

16:30~



京浜 Jazz Explosion (ビッグバンド)

2009年、横須賀高校56期・田村理を中心に、当時首都圏の大学ビッグバンドサークルで活動していた仲間を集めたピックアップバンドとして結成。結成9年目を迎える今年、メンバーもアラサー世代の真只中。まわりを取り巻く環境も少しづつ変化していくなか、童心を忘れず、10代~20代の頃、初めてビッグバンドジャズに出会ったときに受けた衝撃と感動を体現し伝えていくことを使命として、往年のスイングナンバーからコンテンポラリージャズまで数十曲以上のレパートリーをひっさげ、年間複数回のライブやセレモニー等での演奏、各地のジャズフェス出演など、精力的に活動を広げている。強力なリズムセクションをバックに、炸裂するプラスと艶やかなサックス、個性あふれるソリストが織りなすサウンドはまさに“エクスプロージョン”。ビッグバンドジャズが持つ様々なタイプのカッコ良さを詰め込んだセットリストで、今日もステージは熱狂に包まれる!

メンバー

Alto Sax 山田 佳史 / Alto Sax 大塚 正太朗 / Tenor Sax 谷口 和矢 / Tenor Sax 川村 謙介
Baritone Sax 工藤 悠亮 / Trumpet 高橋 祐一 / Trumpet 加賀美 裕 / Trumpet 富永 聖子
Trumpet 立花 大也 / Trombone 田村 理 (56期) / Trombone 須田 一利 / Trombone 川上 悟史
Bass Trombone 原田 英吾 / Piano 阿部 加奈子 / Guitar 藤本 幸祐 / Bass ハラ 馨 / Drums 佐藤 順



17:10~



RUEED (歌手) *59期

1988年生まれ横須賀市出身。15歳にレゲエディージェイ(Deejay)としてのキャリアをスタートさせ、2007年 当時18歳で「Road to 横浜レゲエ祭」にて史上年少優勝。これをきっかけに活動の範囲は全国に拡大し、翌年P-VINEより1st AL「NEW FOUNDATION」をリリース。そこから現在までに数多くのLIVEやコンピレーションアルバムへの参加を重ねながら、コンセプトアルバム2枚と5枚のソロアルバムをリリースしている。またソロと平行して、突如世に放たれたRUEED(Vo.) Ai Ishigaki(Gt.) Ju-Ken(Ba.)によるバンド『DRLS(Derailers)』ではRUEEDのまた新たな世界観と更なる可能性を感じることが出来る。EP「Track"O"」をリリース後、1st Album「A.R.T.」でメジャーデビュー。2017年公開映画「スカブロ」では本人初となる主演を務め、また同作品のエンディングテーマも担当する。さらに同年は最新アルバム「ABANDON」や、親交の深いギタリスト渥美幸裕との1発録りスタジオ音源EP「ACOUSTIC SESSION」、韓国のアーティストSkull,Koontaらへの客演を果たした楽曲「REGGAE ARMY」をリリースした。2018年、15周年を迎えるRUEEDの活動はまさに多岐に渡り、縛られない。そして常に独自の存在感を示し、今尚、進化し続ける"アーティスト"である。真夜中のクラブからビッグフェスまで場所は問わない。リスナー達にプレないメッセージを発信し、魅了し続けて止まないのである。

渥美 幸裕 (ギター)

2002年から様々なアーティストと多岐にわたるキャリアを経て、「新しい日本の音楽」を創作する為、2012年に東京から京都へ移住。築130年の日本家屋を制作拠点、蔵をスタジオとして日本音楽の新たな姿を模索し始める。様々な古典邦楽、民謡、児童唱歌を研究する中で、その魅力を世界の人々や日本の若い世代に伝えることが使命の一つであると氣づく。古典の様々な仕組みを礎にした新しい日本の音楽を創ること=日本文化を残すこと。伝統と革新は文化の両輪なのである。2016年『日本音楽の伝統と今をギターで 'つなぐ' プロジェクト= "邦楽2.0"』シリーズ第一段「Japanese Guitar Song Book」が完成。この"Japanese Guitar"スタイルにて貴船神社に邦楽2.0楽曲「秋船」を奉納。2017年、各和楽器の古典曲のアップデーター化を図るイベント"邦楽2.0研究会"を開始。京都大原の三千院等で行われるイベント"向源"にて天台声明の邦楽2.0アレンジを披露。関西大学博物館にて文楽、長唄とJapanese Guitarによる演奏を披露。東京にて"邦楽2.0研究会vol.2"を開催。2018年、DJ KRUSH 25周年記念アルバムにフィーチャリング参加。起用された演奏の元ネタ(三番叟)が収録されている。"邦楽2.0" シリーズ第二段「NIPPON NOTE 2.0」を発表。雅楽奏者や祇園巫妓と、それぞれの古典曲を邦楽2.0アレンジし収録。現在、"邦楽2.0"を中心、それぞれコンセプトの際立つ音楽プロジェクトを運営。"Conguero Tres Hoofers"、タップダンスとバーカッショーン、ギターによるトリオバンド。過去2作品がiTunes Jazz chartにて1位を獲得。フジロック出演。清水寺、貴船神社にて映像作品を作成。ヨーロッパ、台湾、ロシアツアーや敢行。2018年、世界を旅して創った「Musical Traveler」リリース。"Next World Satellite Tracks":ライブで再現不可能なスピーカーミュージックの可能性を追求する。"サイコーピジョンズ":中村キタローとの日本語ポップロックユニット。小さい子どもから楽しめるシンプルな歌詞が集まったアルバム「ベストビジョン」をリリース。忌野清志郎氏のバックを務めた音楽家を中心に、石塚英彦、うないぐみ、三宅伸治、山崎まさよし氏らがゲスト参加。"おとあそびワーク":こどもの音楽体験の充実を図るために、亀岡太田保育園はじめ全国ツアー先の保育園、幼稚園で展開。3歳児と即興にて曲を創作するワークを実施。演奏活動の他、楽曲提供や"Sonic Architecture"(ホテルなどのリラクゼーション施設や学習塾等、環境の最適化を図る空間音設計プロジェクト)等、音楽を通して日常が豊かに彩られる世界の提案、平和的交流の実践を続けている。



小林 洋平 (作曲・ソプラノサクソフォン) *49期

神奈川県葉山町出身。神奈川県立横須賀高等学校を経て東京理科大学理工学部物理学科で宇宙物理学研究室に所属。同大学院時代に奨学生を得てバークリー音楽大学へ留学。在学中「Alf Clausen Award」を受賞し、同校映画音楽科(Film Scoring)を首席で卒業。帰国後は直ちに、壮大なオーケストラサウンドからジャズ、ハードロック、民族音楽やアンビエントに至るまで、様々なジャンルに精通した第一線の作編曲家として活躍を始める一方で、唯一無二の世界観と他の追随を許さない美しい音色を持つサックス奏者としても、数多くのファンを魅了している。また、ハリウッドやヨーロッパでの音楽収録経験も多く、国内だけでなく海外の現場でもその繊細かつダイナミックなスコアが絶賛されている。主な作曲作品として、映画「たった一度の歌」「スカブロ」「繕い裁つ人」、NHKドラマ「夕凪の街 桜の国2018」「ふたりのキャンバス」「はぶらし」「高橋留美子劇場」「チャンス」、CXドラマ「炎の経営者」、TBSドラマ「BUNGO-日本文学シネマ-」シリーズ、MBSドラマ「アザミ嬢のララバイ」(監督:犬童一心、手塚眞、三島有紀子ほか)、FMシアター「風に刻む」(文化庁芸術祭大賞受賞)、NHK「国際報道2014 - 2018」、NHKスペシャル「世界遺産 富士山 ~水めぐる神秘~」等多数。編曲作品としても、映画「キャプテンハーロック」、ディズニー「UniBEARsity」PV、スクウェアエニックス「ライトニングリターンズ ファイナルファンタジーXIII」「BRA★BRA Final Fantasy with シエナウインドオーケストラ」シリーズ(全4作に参加)、田中靖人「モリコーネ・バラダイス」などがあり、作曲家としてだけでなく編曲家としても、ジャンルを問わず数多くのクライアントから絶大な信頼を得ている。日本作編曲家協会(JCAA)理事。



斎藤 直樹 (俳優) *39期

安室奈美恵やT R Fなどのバックダンサー や歌番組の振付師を経て、ストレートプレイなど舞台を中心活動。主な出演作品:「仮面ライダーゴースト」<TV>、「ボイズタイム」(宮本亜門演出)、「6週間のダンスレッスン」(西川信廣演出)。「炎の人」「アドルフに告ぐ」(栗山民也演出)「マクベス(長塚圭史演出)、「マリアの首」「クライムズ・オブ・ザ・ハート」(小川絵梨子演出)<舞台>
今後の活動予定: 2019年2月14日~24日DULL-COLORED POP「くろねこちゃんとベージュねこちゃん」、2019年3月~新国立劇場こつこつプロジェクト「スペインの芝居」、2019年秋 風姿花伝プロデュースvol.6(タイトル未定)



矢部 亮子 (バレエダンサー) *40期

逗子市生まれ。9歳より奈良でバレエを始める。転居後、横浜で木村公香に師事。高校一年生の時、埼玉全国舞踊コンクールで毎日新聞社賞受賞。1991年チャイコフスキイ記念東京バレエ団に入団。翌年、上智大学文学部新聞学科卒業。92年より、国内外すべてのツアーに参加し、モスクワ、ボリショイ劇場や、パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、アルゼンチンのテアトル・コロンなどで踊った。2002年に退団するまで、古典作品からベジャール作品、バランシン作品などでソリストをつとめた。退団後の2002年、吉田都プロデュース公演「& Miyako」の制作に携わる。2004年スタジオアーキタンツ主催公演『Uchi/Soto』(リン・チャールズ振付)、2005年「東京オペラの森」小澤征爾『エレクトラ』、2008年ウクライナダンスフェスティバルなどに出演。2010年からは中村恩恵の主宰するDance Sanga Sessionメンバーとして活動した。ヤン・ヌイツによる指導者コースや、ベルトラン・バレーナ(パリ・オペラ座バレエ学校教師)によるフランス式教授法を学んだほか、カナダ国立バレエスクールの指導者コースにて学ぶ。Ballet Studio Allongeを主宰(逗子・目黒)するほか、佐々木三夏バレエアカデミー、都内・神奈川県内のスタジオで教えている。第14回AJBU全国バレエコンクール児童II部指導者賞、第4回全国鎌倉コンクール指導者賞受賞。

メンバー

ピアノ 林 良 / 1st ヴァイオリン 桑田 みどり / 2nd ヴァイオリン 横山 彩 / ヴィオラ 神山 和歌子 / チェロ 渡邊 雅弦
振付 / 苫野 美亜(『心の居場所』)

18:20~



山田姉妹（ソプラノデュオ）

1991年12月24日生。神奈川県出身。二卵性の双子ソプラノデュオ。4歳の時に歌とピアノを始め、共に音楽大学声楽科卒業。二期会オペラ研修所マスタークラス修了時、共に優秀賞を受賞。2014年に逗子と表参道に於いてリサイタルを開催、その後も全国各地で公演を行っている。2017年2月に「あなた～よみがえる青春のメロディー」にてメジャーデビュー。2018年3月に2ndアルバム「ふたつでひとつ～心を繋ぐ、歌を継ぐ」、また9月26日には童謡・唱歌を中心とした最新3rdアルバム「故郷～日本の愛唱歌I」をリリース。NHK「うたコン」「思い出のメロディー」、テレビ朝日「関ジャニ∞のTheモーツアルト音楽王No.1決定戦」、BS-TBS「日本名曲アルバム」、NHKラジオ「すっぴん！」等、テレビやラジオにも数多く出演中。姉の華は、東京藝術大学声楽科卒業。在学中に安宅賞を受賞。NHK大河ファンタジー「精霊の守り人～最終章～」の挿入歌を担当。2011年度ミス鎌倉。妹の麗は、国立音楽大学声楽科、及びオペラ・ソリストコースを首席卒業。卒業時に武賞を受賞。NHK大河ファンタジー「精霊の守り人II～悲しき破壊神～」の挿入歌を担当。女優としてTBS「3年B組金八先生」第8シリーズ等に出演。



宮本 史利（バリトン） *47期

横須賀市出身。横須賀市立馬堀中学校、神奈川県立横須賀高校、横浜市立大学商学部、東京芸術大学声楽科を経て、パルマ国立音楽院3年コースを満点で卒業。2008年より、20世紀最高のソプラノ歌手の一人、ミレッラ・フレーニの下で歌の研鑽を積む。日本では地元横須賀を中心に未就学児対象のコンサート、病院等のコンサートによるボランティア活動から、東京をはじめとした各地でのリサイタルまで、幅広く演奏活動を行い、イタリアでも各地のコンサートに出演している。また、2015年2月、一般社団法人よこすかの音楽家を支援する会(YMSA)を設立。代表理事の立場から、地元である横須賀への恩返しとして、横須賀の音楽家を中心としたコンサートの企画、制作、出演を重ねている。これまでに、湯川晃平、白幡武、高丈二、渡邊明、R.フランチエスキット、L.カビルビ、G.パンツア、M.フレーニ、E.ダーラ、の各氏に師事。喜劇の第一人者である、A.コルベッリ、B.デ・シモーネ、R.パネライ、B.プラティコ、の各氏のマスタークラスを受講。第12回JILA音楽コンクール声楽部門第1位。第4回マルティーニ国際声楽コンクール入選。藤原歌劇団団員。

内門卓也（ピアノ） ※山田姉妹と共に

東京都出身。東京都立芸術高等学校音楽科ピアノ専攻を卒業。その後、作曲にも取り組み、東京芸術大学音楽学部作曲科に入学。在学中には、旧奏楽堂木曜コンサートにて室内楽作品、奏楽堂モーニングコンサート等にて管弦楽作品が演奏される。長谷川良夫賞、アカンサス音楽賞を受賞。同大学を卒業後、同大学院音楽研究科修士課程を修了。ピアノを阿部真子、作曲を安良岡章夫の各氏に師事。これまでに室内楽や伴奏を数多く手がけ、国内外の多くの著名アーティストと共に演奏している。2014年、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンに出演。2015年、ワールドフルートフェスティバルin台湾に出演。東京・札幌・名古屋にてソロリサイタルを行う。

19:30~



田中 靖人（サクソフォン）

国立音楽大学在学中に、第1回日本管打楽器コンクール第2位、第4回日本管打楽器コンクール第1位を受賞。1990年東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以来、国内外でリサイタルなど幅広い活動を行い、TV「徹子の部屋」「題名のない音楽会」など、メディアにも数多く出演。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィル交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団など、ソリストとしてオーケストラとの共演も多数。ソロ・アルバムに、1991年「管楽器ソロ曲集・サクソフォーン」(日本コロムビア)、1995年「ラプソディ」(EMI Music Japan)、1997年「サクソフォニア」(EMI Music Japan)、2003年「ガーシュインカクテル」(俊成出版社)、2012年「モリコーネ パラダイス」(EMI Music Japan)をリリース。また、サクソフォーン四重奏団トルヴェール・クワルテットのメンバーとして活躍し、これまでに10枚を超えるCDをリリース。2001年文化庁芸術祭レコード部門大賞を受賞。現在、東京俊成ウインドオーケストラコンサートマスター、愛知県立芸術大学、昭和音楽大学、桐朋学園大学各講師、札幌大谷大学客員教授、名古屋音楽大学客員教授。



上野 正博（指揮） *37期

神奈川県生まれ。東京藝術大学指揮科卒業。93年、同大学院音楽研究科指揮専攻修了。「94年、東京国際音楽コンクール・指揮部門にて「入選」。'96年、ベルリン芸術大学に留学。その後、「ベルリン・ドイツ・オペラ」の指揮研究員として研鑽を重ねる。'98年、ミトロプロロス国際指揮者コンクールにて最高位(1位なし2位)入賞を果たし、併せて「ミトロプロロス・ゴールドメダル」を授与される。今までに、東京都響、読売日響、東京フィル、東京シティ、新日本フィル、神奈川フィル、群馬響、名古屋フィル、京都市響、広島響、札幌響、九州響、関西フィル等を指揮し、好評を得てきた。また、ドイツの名匠G.アルブレヒトに直接指名される等、オペラスタッフとしても経験を積み、自らも、多くのオペラを指揮している。海外では、2000年に国立ワルシャワ・フィル定期公演、ウィーン室内管のオーストリア・ツアーや指揮してヨーロッパ・デビュー。'06年には、ラボラトリウム国際現代音楽祭(ワルシャワ)に招聘された。今年2月には、テレビ朝日「関ジャム」に出演。活動の幅を広げている。現在、東京藝術大学大学院、洗足学園音楽大学大学院及びフェリス女学院大学講師。東邦音楽大学特任准教授。



オザワ部長（トーク） *40期

日本で唯一の吹奏楽作家。1969年生まれ。神奈川県横須賀市出身。早稲田大学第一文学部文芸専修卒。著書に『吹部ノート3』(KKベストセラーズ)、『あるある吹奏楽部の逆襲!』(新紀元社)、『サヨナラノオト ブラバンガールズの約束』(学研プラス)、『きばれ! 長崎ブラバンガールズ』(藤重佳久と共に著/学研プラス)など多数。雑誌、ネットメディア、CD選曲・ライナーノーツ執筆、講演等で活躍中。インターネットラジオOTTAVAにて「Bravo Brass ~ブラバンピープル集まれ! オザワ部長のLet's吹奏楽部~」のプレゼンターを務めるほか、FM番組「オザワ部長の青春RADIO吹奏楽部」、NHK FM「今日は一日“吹奏楽”三昧リターンズ」、TBSラジオ「たまむすび」等に出演。また、総合吹奏楽情報サイト「ある吹net」(<http://arusui.net/>)にて、最新の吹奏楽情報や取材記事を発信している。担当楽器はサックス。好きな吹奏楽曲は『吹奏楽のためのインヴェンション第1番』(内藤淳一)、『ルイ・ブルジョアの讃美歌による変奏曲』(スミス)。ツイッターアカウント●@SuisouAruaru



寄付者一覧

株式会社 いづみ工事

株式会社エイヴィ

堀建設株式会社

ミカサホーム株式会社

奥山寛樹税理士事務所

高橋株式会社

医療法人財団 暁の星
江沢医院

株式会社 大川設計

かながわ信用金庫

ザ・タワー
くまさん整形外科

山王成彦税理士事務所

湘南信用金庫

有限会社 湘南マリーン

税理士法人
みかさパーク共同事務所

龍本寺

ADAS大学進学会

宇内建設株式会社

(有)大洋テレビサービス

内藤洋服店

株式会社 新倉商店

株式会社日本教育指導協会
神奈川高等学院

noB'z

株式会社 柳屋

有限会社 山仙商店

株式会社 ユーカリ

有限会社雄設計室

Younger Than Yesterday

環境プラント電設株式会社

横須賀ドブ板通り GREEN
(有限会社グリーン商会)

たかなし洋服店

横須賀高校
吹奏楽部OB会

横中37期・横高1期
三七一会有志

横須賀高校三田会

湘南学院高等学校
横須賀高校同窓生一同

横須賀高校67期
P T A 実行委員会

横須賀高校68期
P T A 実行委員会

横須賀高校69期
P T A 実行委員会

横須賀
ユースホステル協会

宇野裕司	高橋哲也	遠藤正敏	浅野修	遠藤美代子	松生渾	福永善徳
山崎善雄	大谷淳子	原田美紀	岩沢正純	越後信義	川名健司	窪塚裕美
原田一之	福本武志	八巻敏博	関本雄二	川北宏	村田光男	中村純
松本健	大石貴司	板垣耕一郎	櫻井総	角田光弘	大竹英恵	永井聰
廣川淨之	加藤直	清田宏明	小林康浩	斎藤哲郎	沢光明	森川英樹
相原由美	有賀節	中西円佳	渡邊直美	黒羽加寿美	岸田美規	神田千穂
小林由夏	高橋直美	塩澤隆子	鈴木芳美	吉原由佳	福永文子	芝崎琢巳
野澤優子	宮尾美穂子	小川成章	長山清和	飯田真岐	高橋由恵	河野暁子
瀬戸享枝	八矢信宏	八田聰	鈴木洋路			

上記の他、多数の方々にご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

※順不同 敬称略



- 主催 ● 横須賀高校創立 110 周年記念 Music Festival 2018 実行委員会
協力 ● 横須賀高校吹奏楽部 OB 会 ● (有) FAIR WIND music
● 高嶋音楽事務所 (株式会社エイティーン) ● Magnum Records
後援 ● 神奈川県立横須賀高等学校朋友会 ● 横須賀市